

令和5年度 長崎県立佐世保東翔高等学校 学校関係者評価 報告

1 評価実施日 令和6年2月20日

2 評価者 学校評議員

3 学校関係者（学校評議員）からのご意見及び助言等について

(1) 教育活動等について

- ① 近年、感染症等の影響により、学校の活動内容が分かりづらい面があった。積極的に地域や中学校へ発信してほしい。
- ② 地域と連携した取組がさらにできないか検討してほしい。

(2) 生徒募集に関する取組について

- 人口減少に伴う生徒数の減少が見られるが、学校の魅力が伝わるように、地域や中学校に発信してほしい。

(3) 「創造」の授業について

- 取組内容について伺いたい。

(4) 学校評価について

- 昨年度より、高評価となっているがどのような取組をされているか伺いたい。

4 学校の対応等について

(1) 教育活動等について

- ① 今年度は、すべての学年において、地域に出て活動を展開するとともに、ホームページ等で情報発信をしている。次年度はInstagramを開設予定である。
- ② 現在、地域の行事やボランティア活動等に参加している。今後も参加させていただく予定である。

(2) 生徒募集に関する取組について

- 地域の回覧板等も活用しながら広報活動を行っている。今後も学校の魅力が伝わるよう取り組んでいく。

(3) 「創造」の授業について

- 1年「気づく」・2年「関わる」・3年「行動する」をテーマに掲げ取り組んでいる。どの学年も地域に出て活動し探究活動等を行い、成果を上げている。

(4) 学校評価について

- 職員朝会や職員会議等をとおして、学校経営方針に係る共通理解を図りながら地道に各取組を進めている。